

銅合金の鑄造・鍛造メーカーである大和合金（本社・東京板橋区、社長・萩野源次郎氏）は来年2月11～14日に行われる「シンガポール・エア・ショー2014」に出展する。東京都が都内に立地する企業をPRするスペースで、航空機のランディングギア向けの鍛造・押出品を紹介する。同展示会への参加は今回が初。同社は航空機向

シンガポールの航空機展示会 大和合金が出展 鍛造・押出品を紹介

けを注力市場のひとつに位置づけており、取引先の拡大を目的とした考えだ。同社が出展するのは高力黄銅やアルミと青銅製のブッシュと呼ばれる円筒形の素材。鍛造や押出で製造している。銅合金は柔らかく軸を傷つけないことが特徴。同社ではその中でも耐摩耗性が高い合金を航空機の整備会社などに供給している。萩野社長は展示会への参加について「シンガポールはアジアの航空関連産業が多く、今回の展示会の規模も大きい」と期待している。

